

# 食品値上げ「大波」再び

食品値上げの「大波」が再び押し寄せます。帝国データバンクが1月31日発表した主要食品メーカー195社の集計によると、2月の値上げは5463品目に上ります。昨年のピークだった10月に次ぐ水準で、消費者の節約志向は強まるばかり。大手小売りは買い控えの動きがさらに広がらねないかと危機感を

## 春先に活発化

と、2月の値上げは5463品目に上ります。昨年のピークだった10月に次ぐ水準で、消費者の節約志向は強まるばかり。大手小売りは買い控えの動きがさらに広がらねないかと危機感を

### 2月の主な食品値上げ

メーカー	商品名	改定率・額
山崎製パン	ランチパック (ピーナッツ、たまご、ツナマヨネーズ)	平均 4.7%
味の素冷凍食品	ギョーザなど冷凍食品 51品目	6~16%程度
カゴメ	カゴメトマトケチャップ(500グラム)など食品65品目	10.1~19.6%
フルドックソース	ブルドック中濃ソース(300ミリリットル)	275円 → 313円
大塚製菓	カロリーメイト ブロック チーズ味(4本)	218円 → 238円

(注)品目数は家庭用。改定率・額の伸び率は税別出荷価格、金額は税込み希望小売価格。写真は各社提供

## 買い控えの動きに危機感

集計し直し、10月は7804品目に増えました。

値上げは年末年始に落ち着きましたが、店頭で商品を入れ替える春先を控えて再び活発化します。22年度は、延べ3万品目を超える記録的な値上げラッシュの1年となります。

山崎製パンは1日、「ランチパック」主力3品目の出荷価格を平均4.7%引き上げ。冷凍食品は大手5社が計400品目以上を値上げ。味の素冷凍食品は、売れ筋の「ギョーザ」の価格を8年ぶりに上げます。

調味料も「カゴメトマトケチャップ」や「フルドック中濃ソース」などの定番が値上がりします。大塚製菓の「カロリーメイト」は40年前の発売以来初の値上げで、ブロックタイプ(4本入り)は216円が238円になります。

### 収束兆しなし

スーパーは「家庭で電気料金の負担が増え、さらに買い控えが広がる」(業界団体幹部)と

懸念します。全国各地の生活協同組合(生協)は3月まで店舗と宅配で牛乳や豆腐を値下げ。

西友は急激な円安がやや修正されたことを踏まえ、1月下旬から「円高還元セール」を展開しています。オレンジなどの輸入食品は最大で2割引きです。

コンビニも、ローソンが価格を抑え置いたまま食材などを5割増額する「実質値下げ」を2月6~27日に実施。対象は「焼きそばパン」など12品目で、同社幹部は「相次ぐ値上げで閉塞(へいそく)感が漂う中、少しでも買い物を楽しんでほしい」と話します。

ただ、食品値上げは収束する兆しが見えません。パンや麺類の原料になる輸入小麦の価格を据え置く政府の物価高対策は、3月末で期限を迎えます。昨年10月に一斉値上げした飲料メーカーも、物流費や容器代の負担増に悩まされており、帝国データバンクの担当者は「今年も価格転嫁を決定せざるを得ない」と予測します。